

ヨード欠乏症プロジェクト2013レポート（要約）

2014.3.29

報告者PHIDReC（ネパール）

1. 目的

チョウタラ病院（シンズーパルチョーク郡）来院の妊婦に対して、ヨード欠乏状況を調べることをメインとする。

- ① 妊婦の血圧を含む健康診断を行う。
- ② 尿中ヨード濃度検査によりヨード欠乏症の判断をする。
- ③ 妊婦及び周辺の母親に対する健康教育（ヨード添加塩、ヨード欠乏症に関する知識など）

2. 期間 2013年9月～2014年1月

3. 場所 チョウタラ病院（シンズーパルチョーク郡）

4. 対象 妊婦 100名

女性保健グループ 4グループ（教育のみ）

5. 調査・検査結果

Table 1:妊婦の尿中ヨード濃度の分類（WHO 方式）

尿中ヨード濃度 (µg/L)	ヨード摂取	ヨードの状態
<150 µg/L	不十分	ヨード欠乏
150-249µg/L	充分	栄養的妥当
250-499 µg/L	必要以上に多い	ヨードによる甲状腺機能障害の危険あり
≥500 µg/L	過多	逆に健康を害する危険あり

Table 2: 妊婦の年齢

特性（年齢、体重）	Number (n=101)	Percent%
20 以下	36	35.6
21-35	64	63.4
35 以上	1	1.0
平均年齢 (S.D.)	22.8±4.1 (Min.-16; Max.-40)	
平均体重 (Kg)	52.0±6.6 (Min.-35; Max.-68)	

Table 3: 妊婦の血圧

血圧	Number	Percent%
正常	89	88.1
低血圧	11	10.9
高血圧	1	1.0

Table4: General clinical status of women 妊婦の一般診療結果

診療結果	Number	Percent%
正常	99	98.0
異常	2	2.0

Table5: Urinary iodine excretion level and iodine intake status 妊婦のヨード欠乏状況

尿中ヨード濃度 (µg/l)	Number (n=100)	Percent%
ヨード欠乏 (<150)	27	27.0
充分(150-249)	17	17.0
必要以上に多い(250-499)	25	25.0
過多 (≥500)	31	31.0

結論

妊婦の一般診療は満足な結果であったが、尿中ヨード検査によるヨード欠乏は、依然として27%存在している。これらの妊婦は優先的にヨード欠乏症の予防計画に組み込まなければならない人たちである。

<コメント>

ネパール政府保健省ではヨード添加塩の普及が80%に達しているので成功と解釈しているが、ヨード添加塩の摂りすぎによる弊害が危惧されている妊婦が56%もあることは、社会問題である。摂取過多のアラームのPRも政府は合わせて行わなければならない。

ヨード添加塩の摂りすぎは高血圧を誘因するリスクがあるので、合わせて血圧検査したところ、その高血圧の人は少ないので、ヨード添加塩の摂りすぎは、長期的なものではなさそうだ。これが出産後も習慣化されると、高血圧や他の健康障害が危惧される。低血圧の人が11人も居るのは、食事の偏りによるものと思われる。

以上